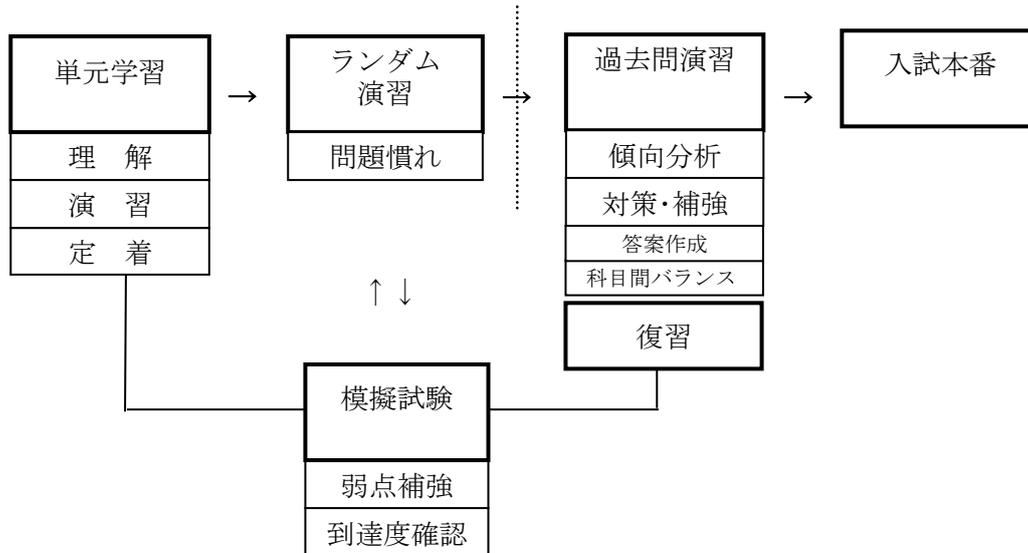


わが子が伸びる親の『技』研究会

～ 合格のための過去問演習 ～

平山入試研究所 小泉浩明

A. 今まで何をやってきたのか？



B. これから何をすべきか？

1. 志望校の過去問演習の実施
2. 志望校の出題傾向を分析
3. 弱点科目、弱点単元/分野の対策・補強
4. 答案作成のテクニックの習得
5. 合格者最低点のクリヤーと科目間バランス
6. 既習事項の復習

C. 志望校の過去問演習の実施

1. 過去問演習の意義・注意点
意義：上手にやれば点数が上乗せできる
注意点：やり方を間違えると時間の無駄

2. 塾任せにはできない過去問演習

- 1) お子さんの弱点の発見・補強まで出来ているか？
⇒個々の生徒に事細かく対応することの難しさ。
- 2) 9月から始まる志望校別対策講座と第一志望が違う？
⇒一致しない場合も少なくない。
- 3) 塾ではカバーできない過去問演習もある？
⇒第二、第三志望対策は家庭で実施。

3. なぜ10点、20点と上乘せできるのか？

- 1) テスト慣れ（セルフコントロールができるようになる）
⇒「やっている自分」と「やらせている自分」
※注意点：適度な緊張をキープできているか？
- 2) 時間配分がわかってくる
⇒どこまでをどのくらい、遅れは取り戻す
※注意点：1つの問題にかかりっきりになっていないか？
- 3) 自分にあつた解き方の順番が決まってくる
⇒（例）知識問題→物語文→論説文 など
※注意点：実際に子どもが問題を解いている様子を確認
- 4) 志望校の「問われ方」に慣れてくる
⇒学校により問い方にも傾向がある
※注意点：「自分の言葉で…」など
- 5) ステ問への対処が上手になる
⇒算数の難問・国語の抜き出し問題 など
※注意点：ステ問とはどのような問題かをつかめているか
- 6) 志望校の傾向がつかめる
⇒頻出分野／単元、文種など
※注意点：さらには、算数：大問5の小問(1)は易しい・国語：麻布の選択肢は方向性を示す など
- 7) 知識の強化
⇒文法問題、文学史などは頻出に注力
※注意点：絞らなければ手が付けられない
- 8) 弱点補強による弱点単元／分野の克服
⇒頻出単元／分野内の弱点単元・分野を最優先で
※注意点：美味しいものから食べる！
- 9) スピードアップ
⇒問題文を読むスピード・記述問題を解くスピード・計算のスピード
※注意点：実戦における必要なスピード感が実感できているか

